

04 春闘推進ニュース



全国労働組合総連合
TEL:03-5842-5611
FAX:03-5842-5620

全労連ニュース速報 NO.771

2004/04/23

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

第6次国会行動 年金改悪法案の廃案求め 280名

21日、22日、23日で延べ5390人が参加

第6次国会行動が21日、22日、23日と3日間取り組まれ、昼デモ(1500人)、国会前行動(800人)、夜の集会在2500人、22日の座り込みに310人、23日の座り込みに280名と、延べ5390人が行動に参加しました。本日の委員会傍聴は、午前・午後あわせて厚生労働委員会と有事特別委員会あわせて50名が参加しました。しかし、麻生・中川・石破三閣僚の保険料未納問題で厚生労働委員会は審議がストップし、午後は開かれませんでした。

本日、午後7時から厚生労働委員会が再開され、三閣僚が30分出席し、1時間の質疑を行なうことで紛糾していた委員会が正常化の様です。

厚生労働委員会の予定

今後、以下のように与党は委員会運営を要求してくる見込みです。

- 26日に厚生労働委員会理事懇談会 13:00から開催する——委員会日程の論議
日程が明らかになった時には、至急その内容をお知らせします。
- 27日に定例日以外の委員会を開催し、審議終了とし、28日に委員会の採決を行なう。
27日の傍聴がある場合は、基本的に9:30、12:30に衆議院議面に集合のこと。
- 28日の行動
 - * 第7次国会前座り込み行動 12:00~15:00 参議院よりの第2議員会館前
 - * 厚生労働委員会傍聴 9:30、12:30 衆議院議面に集合
 - * 採決の場合は、その場で傍聴者と議面待機者で緊急の抗議行動を予定する。

—本日の国会座り込み行動での国会報告（要旨）—

■ 池田幹幸議員（日本共産党 参議院国会対策副委員長）

中川・麻生が国民年金払っていない。こういったことが本日の厚労委で発覚した。連日のたたかひの成果が少しずつ現れてきている。しかし、自民・公明政府与党はまだ連休前に強行採決を狙っている。道路公団民営化のときには60日間論議しているのに、年金については30時間という短時間で解決させてしまおうとしている。

有事関連法案も連休前に通そうとしている。こういったことを見てみると、今の国会は、あまりにも国民を無視している。私たちはこの国会を重視する必要がある。

私たちの生活をみても、大企業は儲かっているのに対し、中小企業はどんどん潰れていく。

私は、国会で財政金融委員会の担当委員だが、金融の問題でも政府側は銀行に公的資金をつぎ込むということを言っている。国会はあまりにも無秩序。こういった状態を国民に訴えていく必要がある。

■ はたの君枝議員（日本共産党 参議院議員）

青年が年金保険料が払えないというのが大変問題になっている。しかし、大臣も払っていないということがわかった。先日の人質事件では、政府側は人質になった5人は「自己責任」と言っていたが、年金をはらっていない大臣には「自己責任」は問われないのか。

—各団体・地方からの発言（要旨）—

■ 藤枝たつひろさん（全建総連）

本日の全建総連の行動は、**230**人が参加している。保険料を大臣が払っていないという話を聞いて、年金保険料を払っていない人たちに、どうして年金の論議ができるのか。私たちは、今度の参議院選挙で私たちの願いを本当に託せるところに投票したい。

■ 平沢さん（年金者組合・山梨）

昨日は県内で山梨独自の宣伝行動を行った。**33°C**という暑さの中で「年金改悪阻止！ 廃案へ！」とノドをカラカラにしながら取り組んだ。私たち戦争を体験している者にとって、今の日本は戦時中だと実感する。自衛隊派兵や有事法案、年金改悪などは許せない。

■ 高士さん（自治労連）

昨日は自治労独自で国会をまわった。小泉内閣は三位一体改革というものを進めている。いま出されている年金改悪法案も地域の経済を冷え込ませるだけだ。ともにがんばろう。

■ 清水さん（国公労連）

私たちは**4・15**全国統一ストに呼応して、街頭でシール投票や署名ビラ配布などを行った。普段ビラを受け取らない青年も立ち止まりシール投票をやってくれ、対話をした。シール投票では**98%**の方が年金改悪反対。消費税も反対となった。富山や宮崎など全国でも宣伝行動をおこなった。この行動に確信を持つことができた。

■ 木村さん（全日本民医連）

この間のあいつぐ医療改悪で、受診できない人たちが増えてきている。あるお年寄りの方は薬を数人で分け合っていてやっている。という話も聞いている。いのちを大事にするためにがんばりたい。

■ 三木書記長（JMIU）

JMIUは今回の春闘は「年金春闘」と位置付け、かつてない規模で闘った。**4・15**ストでは**105**支部がストを決行。昼休み集会・行動には**240**支部が闘った。全国の**7~8**割が職場決議を挙げた。ある企業の社長と全役員が署名に協力してくれた。企業にとっても今度の年金改悪は大改悪だ。

5月15日にJMIU独自で**1000**人規模の集会を行い、国会を包囲していくことを予定している。

■ 盛本書記次長（生協）

4・15ストを私たちも年金改悪反対の一点において闘った。**400**の店で組合員と署名行動や店内ポスター行動を行った。今度の年金改悪は多くの組合員が「許せない」と言っている。

■ 川又県本部委員長（年金者組合・千葉）

私たちは**4・15**統一ストにおいて**250**名以上で県庁前に座りこみ、請願行動もおこなった。ある女性の方が「**40**年間保険料を払っているが、夫が死んで遺族年金にうつしたい。私が払っていた保険料はどこにいつてしまうのか。」と怒っている。今日は千葉から**22**名で来ている。

—まとめの発言—

■ 吉田さん (年金者組合)

3日間にわたる正々堂々とした闘いだっただけでなく、無年金者をもおいつめていた。その中で小泉と坂口は「連休中にとおせ」と指示している。本当に許せない。

■ 熊谷全労連議長

3日間をつうじて5000人以上が参加した闘いだっただけでなく、私たちの闘いは確実に国会をおいつめていた。3閣僚はただちに罷免すべきだ。来週の闘いは節目の局面になってくる。全力でがんばろう。

中川・麻生・石破の三大臣の保険料未納判明で委員会がストップ

追加納入すればすむ問題ではない 議員の辞職を要求する

中川昭一経済産業相、麻生太郎総務相、石破茂防衛庁長官の3閣僚は23日午前の閣議後会見で、国民年金の保険料を納めていなかったことを明らかにした。国民に保険料支払いを求める政府の閣僚から未納者が発覚し、保険料の引き上げを盛り込んだ年金改革関連法案に反対する野党側は「21年間払っていない中川氏は悪質。政府は法案を出す資格はない。(未納の)閣僚を辞めさせるか、法案を出し直すかだ」(野田佳彦・民主党国対委員長)と批判。同日午前の衆院厚生労働委員会は、民主党が中川氏らの出席と答弁を求めたため、たびたび中断した。

中川氏は「83年2月に(旧日本興業銀行を)退行し、12月に国会議員になって今まで国民年金を払うのを忘れていた。まったくのミス。おわび申し上げたい」、麻生氏は「96年11月に経済企画庁長官に就任した時、厚生年金を国民年金に切り替えるところで怠ったため、00年9月に60歳になるまでの約3年10カ月が未加入になっている。お騒がせして申し訳ない」と、それぞれ陳謝した。中川氏は02年以降の保険料を先週納付したことも明らかにした。

石破氏も長官に就任した02年9月以降、口座から保険料が引き落とされていないことを認めたが、社会保険庁側が「資格喪失」の扱いにしていたことも分かり、同庁の事務的なミスの可能性もある。石破氏は「今日中に1年5カ月分を払う。うっかりミスで、おわびしたい」と陳謝した。

また、福田康夫官房長官は小泉純一郎首相と自身について「60歳当時は納付している」と述べたが、60歳以前に関しては「答えは差し控える」と回答を拒んだ。茂木敏充沖繩・北方担当相も「少なくとも(93年7月に)国会議員になってからは支払っている」と述べ、以前に未加入の期間があったかどうかはコメントはここまでにさせていただきます」と答えなかった。

<小泉首相、問題視せず>

小泉首相は23日昼、3閣僚が国民年金保険料を納めていなかったことについて「今後、直せばいいでしょう。みんなうっかりして(家族に)任せていたんじゃないですか」と問題視しない考えを示した。首相自身に未納分がないかと聞かれ「ありません」と否定した。首相官邸で記者団の質問に答えた。<毎日新聞 2004年4月23日 12時11分>